



# 高口やすひこ 通信



—KOMEITO—  
**公明党**

立川市議会議員 高口靖彦  
電話・FAX 534-0267 柏町在住  
E-mail: takaguchi@komei-tachikawa.com  
http://www.komei-tachikawa.com/takaguchi  
フェースブック yasuhiko.takaguchi

今秋は、季節外れの台風に何度も見舞われました。各地で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。私は、市内の見廻りなどを行いましたが、幸いにも立川市内では大きな被害はありませんでした。災害対策本部や避難所の開設、消防団の方々の待機など、多くの方が夜通し災害に備えて尽力されておられましたことに心から感謝申し上げます。



## 【第3回市議会定例会報告】 平成28年度一般会計・特別会計決算を認定

平成29年第4回定例会が9月4日から27日までの会期で開催されました。今定例会では、平成28年度立川市一般会計歳入歳出決算及び6つの特別会計決算を審議する決算特別委員会が設置され、私も委員として審議に臨みました。一般会計の歳入総額は約781.6億円、歳出総額は約738.1億円、実質収支は黒字を維持しましたが、単年度収支は約3.5億円の赤字、実質単年度収支も約3.1億円の赤字となりました。ただ、積立金の取崩しは行っていません。また私は9月4日の本会議の一般質問で、①我がまちの2025年問題について（国民の4人に1人が75歳以上という超高齢化社会へ突入する問題） ②子ども達が健やかに育ちゆくために ③防災・減災について、市長の考えと今後の取組みをたどりました。

## 市のお金はどんなことに使われているの？ 平成28年度一般会計歳出決算額を1万円札に例えると

<p>議会費 60円</p> <p>市議会の運営など</p> 	<p>総務費 1,270円</p> <p>住民票交付、交通安全、施設維持など</p> 	<p>民生費 4,840円</p> <p>子育て、障害・高齢福祉など</p> 
<p>衛生費 710円</p> <p>予防接種、環境対策、ごみ収集など</p> 	<p>労働・農林・商工費 100円</p> <p>仕事支援、農商工業振興、観光など</p> 	<p>土木費 920円</p> <p>道路、公園、住宅整備、まちづくりなど</p> 
<p>消防費 340円</p> <p>消防、防災など</p> 	<p>教育費 1,200円</p> <p>学校、図書館、体育施設、幼稚園など</p> 	<p>公債費 560円</p> <p>借金の返済</p>
		<p>歳出合計 10,000円</p>

# 私の一般質問の主な質問内容



## ★我がまちの2025年問題について

- ◆主張 我がまち、立川市の2025年問題について、総合的にどのように認識しているのか。地域包括ケアシステムの構築を急ぐべき
- ◆主張 支援を必要とする子ども、障がいのある方、高齢者等の共生サービス機能を支えるための拠点づくりを推進していくべき
- ◆主張 高齢者、障がいのある方、子どもなど、対象者に関わらず、相談支援等を包括的に行う仕組み・体制の構築と、福祉人材の育成を図るべき

※2025年問題とは、団塊の世代が2025年頃までに75歳以上の後期高齢者になることで、医療・介護・福祉サービスの整備が急務である一方、社会保障財政の崩壊の懸念がされていることです

## ★子ども達が健やかに育ちゆくために

- ◆主張 本年4月、子どもの見守りを行う当事者が逮捕される事件が社会に衝撃を与えた。子ども達の大人に対する不信感を取り払う施策を展開していくべき
- ◆主張 明年、緑町の通学区域が第十小学校に変更となり、通学距離が最長1.9キロになる。特に新一年生の登下校の安全安心を図るべき
- ◆主張 障がいのある子ども達が、介助員等のサポートの関係で、中学校のクラブ活動が出来ない現状がある。ケースバイケースではあるが、出来るだけ希望が叶うよう配慮すべき
- ◆主張 柏町のけやき公園について、出入口付近の歩道にガードレールが無く危険。着脱式の車止め等の対策をすべき



## ★防災・減災について

- ◆主張 防災トイレについて、障がい者、女性、子ども等配慮を必要とされる方への十分な配慮とともに、その処分の際の衛生処理を適切に行うべき

概容、私の上記質問に対し、市は概ね、調査・研究、対応を進めるとの答弁をしました。今後も上記質問が確実に実施されていくよう努めて参ります。特に障がいを持つ子ども達が、希望すれば学校でのクラブ活動が出来るよう、強く主張してまいります。

# 決算特別委員会での強調した質問内容

- ◆主張 立川市高齢者運転免許証自主返納支援事業が廃止されたが、**自主返納を卒業の言葉に変え**、新たな事業を行うべき
- ◆主張 プレミアム婚姻届けを市民が利用する際、無料などの優遇措置をはかるべき
- ◆主張 子ども・若者自立支援事業の中で、特に中学校卒業後、数年以内の子ども達の引きこもり支援を充実させるべき



## たちかわ市民交流大学が10周年を迎えました



立川市は、「生涯学習からはじまるまちづくり」を目指し、平成19年10月に「たちかわ市民交流大学」を開校し、今秋10周年を迎えました。私が議員になって間もなくの開校で、この間、議会で数度にわたり充実を訴えてきました。今では、多くの方に愛されていると思います。

## 砂川七番駅直近に自転車駐車場が整備されます！



長年の懸案であった多摩都市モノレール砂川七番駅直近に、自転車駐車場が新たに整備されます。これまで民間の商業施設があった場所を市が借り受け、敷地は自転車駐車場として、建物は改修して子育て施設（学童保育所）が設けられます。

## 立川市スポーツ振興議員連盟 第1回研修会

10月14日、立川市スポーツ振興議員連盟の第1回研修会として、アリーナ立川立飛で開催されたプロバスケットボールリーグ（B.LEAGUE）観戦をしました。

今後も東京オリンピック・パラリンピック参加国の選手団事前トレーニングキャンプ誘致に尽力して参ります。

※過日、立川市はアルバルク東京（B.LEAGUE 所属チーム）とバスケットボールを中心とした、スポーツによる地域活性化に関する連携を推進する相互協定を締結しました。



この度の衆議院選挙が終わって、公明党は下記の党声明を発表しました。ここに全文を紹介させていただきます。

## 党声明

### 公約の実現に全力

一、第48回衆議院選挙において、わが党は、公認候補を擁立した9小選挙区のうち神奈川県6区で惜敗し8小選挙区で当選、比例区は善戦及ばず21人の当選にとどまり、合計29議席と公示前の35議席を割り込む誠に残念な結果となりました。公明党に対して深いご理解とご支援をお寄せくださった国民、有権者の皆さま、とりわけ厳しい選挙情勢を跳ね返すため、超大型台風が列島に接近する中を最終盤まで血のにじむような奮闘で公明党を押し上げてくださった全国の党員、支持者の皆さま、創価学会員の皆さまに、心より感謝と御礼を申し上げます。

一、今回の衆院選は、着実に政治を前に進めてきた自民、公明両党の連立政権に引き続き日本の未来を託すのか、責任ある政策を提示できない野党に国のかじ取りを委ねるかを問う政権選択の選挙でしたが、自公両党は衆院議席の「3分の2」を上回る310余の議席を獲得いたしました。この結果は、5年近くに及ぶ自公連立政権が進めた経済再生とデフレ脱却、社会保障と税の一体改革、安全保障体制を強化する法整備に対し、有権者の皆さまが「信任」と「さらなる期待」を明確に示してくださったものと受け止めております。ただ、多くのご支持をいただきながら、公明党の議席獲得に結びつけることができなかった要因は、党自身の力量が足りなかったと言わざるを得ません。その原因をしっかりと分析、反省した上で、生活者の視点で政策を立案し実現していく公明党の持ち味を連立政権の中でさらに発揮するために、再出発してまいります。

一、わが党は、選挙戦を通して、幼児教育の無償化をはじめとする教育負担の軽減、年金・介護分野での高齢者支援の充実を強く訴えてまいりました。その公約をはじめ、わが党に寄せられた有権者の皆さまのご期待におこたえするため、全国3000人の議員が結束し、ネットワークの力をさらに磨き上げ、お約束した政策の実現に全身全霊で取り組んでまいります。公明党に対し国民の皆さまのより一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2017年10月23日 公明党

身近な法律相談を実施しています

#### 《公明党無料法律相談》

- ・毎週水曜日（第5週を除く）14時から
- ・立川市錦町1-4-4 立川サニ-ハイツ301
- \* 予約制です。詳細は高口やすひこまで



「高口やすひこ」まで何でもお気軽にご相談下さい！

◆市議会議員 厚生産業委員会委員長

高口やすひこ励ます会 発行